

前県議会議員上野新作さんが
寄附金を贈呈

本市選出の県議会議員として6期24年務めた上野新作さんより、本市文化振興のために30万円、屋久島町口永良部島新岳噴火災害義援金として10万円の寄附があり、8月11日、市役所で贈呈式が行われました。

上野さんは「24年間の議員生活の中で多くの方にお世話になったので、何か感謝の気持ちを示したいと思っていました。皆さんのために役立てていただければうれしく思います」と話していました。

道路愛護の心で通りを美しく
「道の日」道路パトロール

8月は全国一斉「道路ふれあい月間」でした。また、10日は「道の日」に定められています。この日、市や国土交通省、南薩地域振興局建設部、枕崎警察署、交通安全協会、商工会議所、消防署などの関係者が、市街地の幹線国県市道の道路パトロールを実施し、道路清掃や違法看板・道路不法占用などの指導・取締りを行いました。

みんなで創る鹿児島島の未来
～市教育講演会



7月31日、市民会館で教育講演会が開催されました。「薩摩剣士隼人みんなで創る鹿児島島の未来」と題し、鹿児島県民ヒーロー「薩摩剣士隼人」の制作総監督である外山雄大さんを講師に迎え、行われました。

外山さんは「さまざまな活動をする中で多くの人と出会い、人と人とのつながりを大事にし、それらを生かし、多くのものを作り上げてきた。番組制作や地方キャラクターのプロデュースなどを通じて地域活性化をしていきたい」と話をしました。最後には、隼人とヤッセンボーが登場し、会場を沸かせていました。



絵本を親子で楽しむ
～自分づくり講座を開催



8月2日、自分づくり講座「親子で楽しむ絵本読み聞かせ講座」が市立図書館で開催され、9組の親子24人が参加しました。

NPO法人読書推進団体枕崎みしのたくかにと理事長の朝田栄子さんを講師に迎え、絵本の選び方・読み方について学んだ後、わらべうた遊びや工作を行いました。

朝田さんは「絵本の世界には、自然や科学、遊び、哲学などたくさん詰まっている。絵本を読んでいる時に子どもが動き回っていても、ちゃんと耳では聞いていて、感覚で覚えている」と話し、絵本と絵本を楽しむ子どもの素晴らしさを伝えました。

第30回 国民文化祭・かごしま2015
「かつおと焼酎」食と文化の祭典

10月31日(土) 午後5時～7時

会場：南薩地域地場産業振興センター3階ホール

- 講演「語りつごう！伝えよう！枕崎人の心意気」
講師／福田忠弘氏(鹿児島県立短期大学教授)
- 和食の原点～昆布と鰹節の出汁取り実演
講師／木浦信敏氏(「なだ万」代表取締役社長)

11月1日(日) 午前10時～午後5時

メイン会場：南薩地域地場産業振興センター

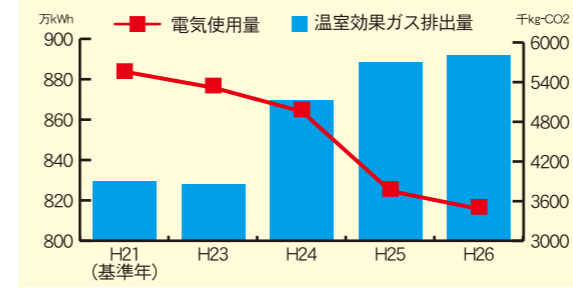
- 劇団「ぶえん」公演「海幸・山幸」
- 講演「晩ごはんから見る、日本の食文化と健康と」
講師／ヨネスケ氏(落語家・タレント)
- 第5回郷土芸能大会(11団体12種目)
- 鰹節削り大会、鰹一本釣り大会
- 鰹節と昆布の出汁取り教室

サブ会場：薩摩酒造花渡川蒸溜所「明治蔵」

- BSテレビ「酒場放浪記」でおなじみ
吉田類氏(酒場詩人)
- 講演「焼酎の歴史(仮称)」
講師／鮫島吉廣氏
(鹿児島大学客員教授)
- 新酒の振舞い



電気使用量と温室効果ガスの排出量比較



地球温暖化の影響と思われる海水温の上昇やそれに伴う北極海域の海水面積の縮小、局地的集中豪雨など世界的異常気象が続いています。国は、平成9年に温室効果ガスの削減を定めた「京都議定書」により、「地球温暖化対策の推進に関する法律」を公布しました。

これは、社会経済活動による温室効果ガス排出の抑制等を促進し、地球温暖化対策の推進を図ることを目的としたものです。このなかで、各地方公共団体の事務や事業に係る温室効果ガス排出抑制計画の策定、実践結果を公表することが義務付けられています。

市役所等の実行計画

本市では、同法律に基づき、平成18年1月に「枕崎市等地球温暖化防止活動実行計画」を策定しました。計画では、平成12年度を基準年とし、平成18年度から22年度までの5年間で、6%の温室効果ガスの削減を目標として実践し、10・1%の削減を達成しました。引き続き、市の事務や事業に関し、率先して地球温暖化対策に向けた取り組みを推進するため、同法律に基づき、平成23年4月に「第2次枕崎市等地球温暖化防止活動実行

市役所等の地球温暖化防止活動
平成26年度地球温暖化防止活動実践結果
エネルギー等使用量減も
CO2排出量は増

26年度は49・2%増加



計画」を策定しました。計画では、平成21年度を基準に平成23年度から27年度までの5年間で、5%の削減を目標に取り組んでいます。平成26年度の温室効果ガス総排出量は、約5805トンの基準年度(平成21年度)に比べ1914・7トンの(49・2%)増加しました。これは、昨年同様、電気の使用に伴うCO2排出係数が、計画初年度の平成23年度に比べ、約1・77倍となったことが大きく影響しています。

参考として、下表の右欄に平成23年度の排出係数で試算した結果では、280トンの(2%)の減となります。具体的には、平成26年度のガソリンなどの燃料使用量は基準年度と比較し約9・2%減少し、電気使用量は同じく約7・8%減少していました。国では、京都議定書目標達成計画の計画期間終了の平成

平成26年度CO2換算温室効果ガスの排出量(対基準年度)

対象	種類	平成21年度(基準年)		平成26年度		【参考】排出係数平成23年度数値使用	
		構成比	排出量	構成比	対基準年	平成26年度	対基準年
市役所	CO2	95.4%	2,182,679.1	96.9%	51.1%	1,983,838.6	▲9.1%
	CH4	1.2%	27,766.7	0.8%	▲2.1%	27,170.1	▲2.1%
	N2O	3.4%	77,243.1	2.3%	▲2.2%	75,572.4	▲2.2%
	計	100.0%	2,287,688.9	100.0%	48.6%	2,086,581.1	▲8.8%
消防署	CO2	98.5%	55,241.1	99.0%	13.8%	49,913.6	▲9.6%
	CH4	0.1%	42.9	0.1%	▲21.9%	33.5	▲21.9%
	N2O	1.4%	763.5	0.9%	▲27.9%	550.8	▲27.9%
	計	100.0%	56,047.5	100.0%	13.2%	50,497.9	▲9.9%
衛生管理組合	CO2	91.8%	1,420,260.2	94.1%	55.2%	1,335,235.8	▲6.0%
	CH4	0.6%	9,416.0	0.5%	23.3%	11,613.1	23.3%
	N2O	7.6%	117,221.6	5.4%	7.7%	126,259.4	7.7%
	計	100.0%	1,546,897.8	100.0%	51.4%	1,473,108.3	▲4.8%
合計		3,890,634.2		5,805,320.5	49.2%	3,610,187.3	▲7.2%

※CO2(二酸化炭素)…代表的な温室効果ガス。石油、石炭等の化石燃料が主な発生源
 ※CH4(メタン)…稲作、家畜の消化管内発酵、廃棄物の埋め立てなどから発生
 ※N2O(一酸化二窒素)…窒素肥料の使用、工業製品の製造などにより発生
 ※衛生管理組合の数字は内鍋清掃センター、共同斎場、衛生センター分を表示

24年度末以降、新たな地球温暖化対策計画は策定されていません。しかし、政府は当面の方針として、京都議定書目標達成計画に掲げられたものと同等以上の取り組みを推進することを地方公共団体や事業者等に求めています。市では、このような状況を見極めながら今後も温室効果

ガス排出量の削減に取り組んでいきます。実践結果及び計画の詳細は、市ホームページに掲載しています。問合せ 市民生活課環境整備係 TEL 72-1111(内線327)